アーカイブはなるべく「完全」であるべきだ。未来における詳細な検証の可能性を担保するために。より精緻な歴史の編成に寄与するために。このような原則が共有されているだろう。しかしそこで前提とされているのはあくまでも研究者としての態度である。アーティストたちはアーカイブの綻びにこそ来たるべきプロジェクトを夢想する。欠落や不足にこそ新展開のポテンシャルを見出す。そして主観的な解釈や生身のやりとりを通して過去と現在をきなり繋ぎ直してしまふ。奥村自身の実践から具体的な事例を引きつつ「不完全なアーカイブ」の可能性について考えてみる。

第12回アーカイブ研究会
「不完全なアーカイブは未来のプロジェクトを準備する」

講師：奥村雄樹

[アーティスト / 翻訳家]

2016/2/23 [火]

17:00-18:30

ギャラリー@kcua

参加無料 [事前申込不要]

主催：京都市立芸術大学
芸術資源研究センター

@KCUA

KYOTO CITY UNIVERSITY OF ARTS ART GALLERY
地下鉄「二条城前」駅(2番出口)徒歩約3分
市バス「堀川御池」バス停下車すぐ
京都市中京区油小路通御池御池小路町238-1
〒604-0052 <http://www.kcuu.ac.jp/gallery/>

講師プロフィール

1978年生まれ。ARTISTS' GUILDおよび講演会メンバー。

近年の主なプロジェクトに《クリニツの光りを離れて——河名温編》(京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA)、《ローマン・オンダックをよめる》(MISAKO & ROSEN / WIELS)、《現代美術の展望はどこにある?》(上野の森美術館)、

《河原温はまだ生きている：ホール・サイヤーへのインタビュー》(Villa Toronto / vimeo)、《肉体契約 (番外編)》(blanClass / Etablissement d'en face)、《多元宇宙の宙語》(blanClass / 豊田市美術館 / 千葉市美術館)、

《高橋尚愛：ワイド・ホワイト・スペース(1967年のアントワープ)からウィールズ現代美術センターのプロジェクト・ルーム(2013年のブリュッセル)へ》(森美術館)などがある。

<http://yukiokumura.com/>

京都市立芸術大学
芸術資源研究センター

京都市立芸術大学
Kyoto City University of Arts — founded in 1880 —